

中部横断自動車道 リレーシンポジウム

第3回 テーマ:防災・医療

「強靱な県土へ

～中部横断自動車道の役割～」

情報提供「防災医療面における中部横断自動車道の開通効果等」

山梨県県土整備部



山梨県

中部横断自動車道の概要



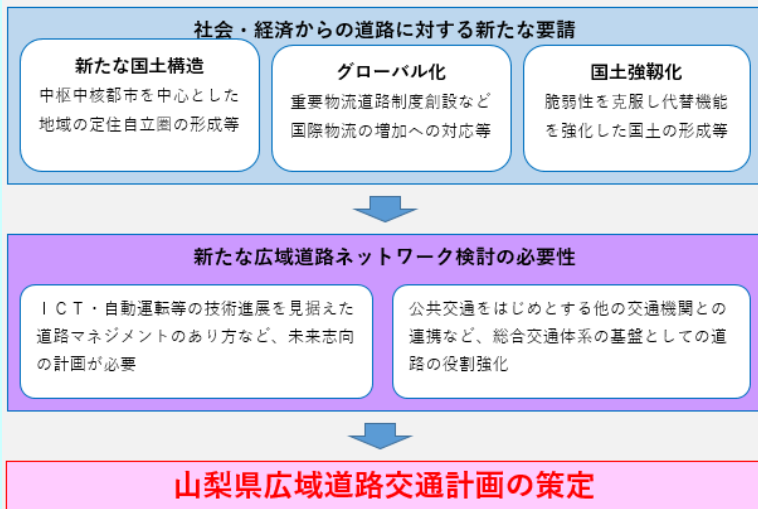
山梨県

● 将来、中部横断自動車道の完成により、上信越自動車道を介して太平洋と日本海を結ぶ、高速道路の南北軸が形成



山梨県広域道路交通計画

- 「山梨県広域道路交通計画」を策定し、安全・安心で活力と希望にあふれる地域社会を構築するための県土づくりを促進



山梨県社会資本整備重点計画（第四次）

本県が目指すべき社会資本整備の基本理念

～活力があり快適で、安全安心な山梨を未来へつなぐ～

道路整備に関する課題と重点目標

分野	課題	重点目標
活力・快適 「いかす」 やまなし	高速交通時代と地域資源活用への対応	・リニア開業効果の県内全域への波及 ・他県域との連携強化 ・県内拠点間の連携強化 ・地域観光資源の利活用
防災・減災 「まもる」 やまなし	安全・安心への対応	・自然災害からの生命・財産の保護 ・緊急時の救援活動を支える基盤づくり ・安全安心な生活環境の確保
長寿命化・持続可能 「つなぐ」 やまなし	インフラ老朽化と持続可能社会への対応	・インフラの長寿命化

山梨県広域道路交通計画



山梨県広域道路交通計画

令和3年3月
山梨県

広域的な道路交通の基本方針

山梨県広域道路交通計画

基本方針

1: 広域道路交通ネットワーク計画

方針1 活力あるやまなしの創造に向けたみちづくり

- 物流機能の強化や販路拡大、リニア中央新幹線との連携による他圏域との交流を促すため、高速道路網やそれらを補完する幹線道路、ICへのアクセス道路等の整備促進に取り組み、物流の効率化や観光振興、都市間の交流促進に資する道路ネットワークの構築・機能強化を図る。
- 地域経済の発展や県民生活を支える安定的な物流を確保するため、県内拠点間や本県と他圏域を結ぶ道路輸送網の機能強化に取り組む。
- 県内各地に点在する観光地への誘客を図り、観光産業を活性化するため、県内外の主要観光地をつなぎ、周遊観光に資する道路の整備を推進する。

方針2 県民の安全と安心をまもるみちづくり

- 災害時における迅速な避難救助や救援物資の輸送、拠点施設への確実なアクセスを可能とする道路ネットワークの整備を推進する。

2: 交通防災拠点計画

方針1 誰もが使いやすい交通拠点

- 円滑な人の移動を確保するため、鉄道駅やバスターミナルにおいて、交通結節機能の強化を図る。

方針2 災害時の避難や救援を支える防災拠点

- 大規模自然災害発生時の避難救援活動に対応するため、道の駅等において交通拠点のソフト・ハード両面からの防災機能強化を図る。

3: ICT交通マネジメント計画

方針1 持続的な暮らしを支える交通マネジメント

- ICT技術を最大限に活用しながら、多様な交通モードが選択可能で利用しやすい環境を創出し、人とモノの流れや地域の活性化等をより一層促進する。

方針2 安全・安心な暮らしを支えるICT技術の活用

- ICT技術を用いて収集したビッグデータを活用し、高密度で安定的な道路交通を実現するために、交通容量の最適化等を行うとともに、交通量をきめこまかくコントロールすることによって、渋滞の発生を抑制するなど、既存のネットワークの最適利用を図るための対策を検討する。

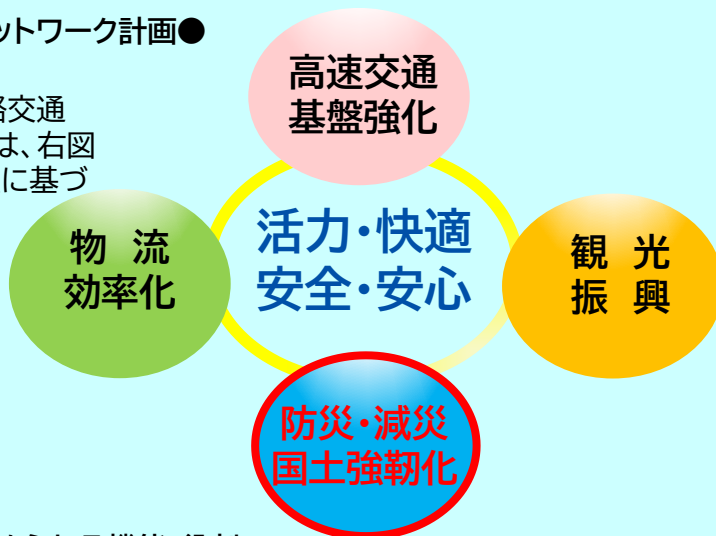
広域道路交通ネットワーク計画

- 中部横断自動車道は、新東名、中央道、上信越道を結び、太平洋側と日本海側を結ぶ横断実が多重化され高速道路ネットワークが強化

●広域道路交通ネットワーク計画●

【基本方針】

山梨県の広域道路交通ネットワーク計画は、右図に示す4つの視点に基づき検討します。



■広域道路に求められる機能・役割■

広域道路については、

- ①平常時・災害時を問わない安定的な輸送
- ②交通事故に対する安全性
- ③自動運転等の将来のモビリティへの備えが求められ、高規格道路については、より高い定時性が求められます。

●道路交通の基本計画●

1. 広域道路交通ネットワーク計画

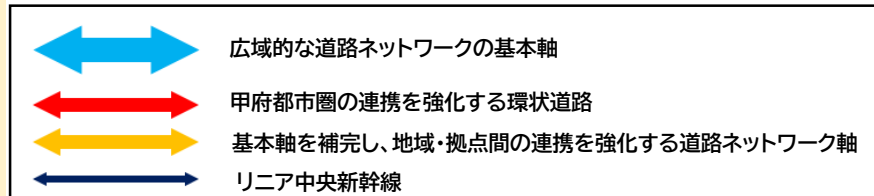
方針1 活力あるやまなしの想像に向けたみちづくり

- 施策1 広域的な交流・連携を促進する高速道路基盤の構築・強化
- 施策2 拠点間を円滑に連絡し、地域産業の発展を支える道路輸送網の整備・強化
- 施策3 広域観光周遊ルートの形成と観光拠点へのアクセス性向上

方針2 県民の安全と安心をまもるみちづくり

施策4 災害においても確実に機能する強靱な広域道路ネットワークの確保

●広域道路ネットワーク図(ビジョン図)●



交通・防災拠点計画

さらに、県民生活のさらなる豊かさの実現に向けて、高速道路等の幹線道路をアクセス路とする防災活動拠点の整備が必要

●交通・防災拠点計画●

2. 交通・防災拠点計画

方針1 誰もが使いやすい交通拠点

施策1 交通結節点の整備強化

方針2 災害時の避難や救援を支える防災拠点

施策2 防災活動拠点の整備・強化

●道の駅等の防災活動拠点機能の強化

南海トラフ巨大地震や富士山噴火などの大規模災害、頻発する風水害、雪害への備えとして、県内の道の駅などにおいて、ソフト・ハード両面のさらなる防災機能の強化を行います。

■防災機能拡充事例：道の駅しらね

●無料公衆無線LAN(Wi-Fi)



非常時の通信環境を確保

●防災備蓄倉庫



非常時に使用する資材等を保管

●非常用水源



非常時の水源を確保

■防災拠点の機能強化

「山梨県大規模災害時における応援受入計画」では、南海トラフ自身ひゃ風水害等の災害発生時の活動拠点として、国道や高速道路沿いの公園11箇所を防災活動拠点に指定しており、今後さらなる防止機能強化を図ります。

■道の駅 富士川

道の駅「富士川」は、静岡、長野、東京方面からの自衛隊や消防等の広域支援部隊の集結拠点であり、峡南地域への進出拠点や各防災活動拠点の指令拠点、また、被害状況に応じて各防災活動拠点と連携し、物資などの支援拠点でもあります。さらに、大規模水害時には、道の駅「富士川」と隣接する河川防災ステーションと一体とした水防・復旧活動拠点となります。

また、重要物流道路や代替・補完路との関係では、中部横断自動車道や国道52号などに接続しており、1方向のみのアクセスだけではなく、多くの方向からのアクセスが可能となっております。

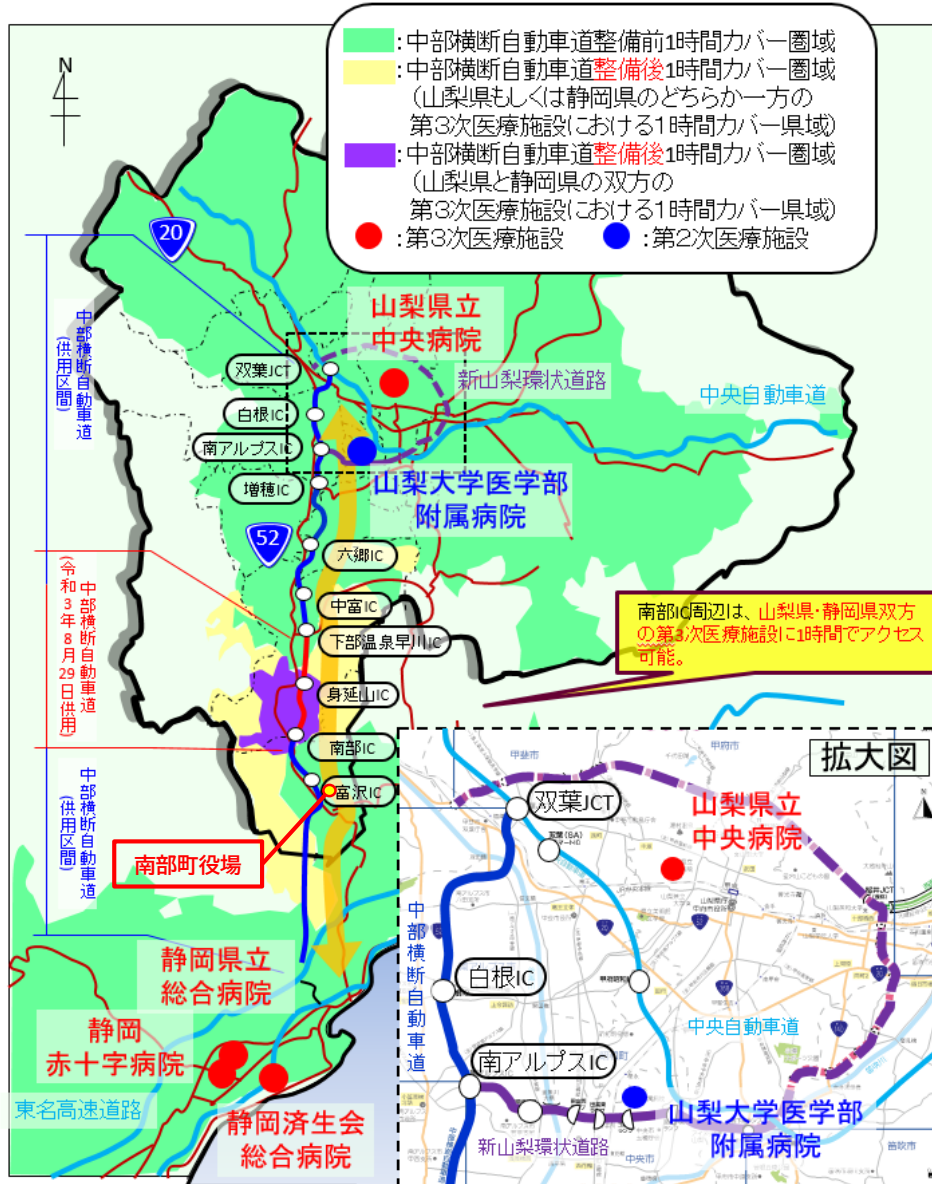
●広域応援受入イメージ図●



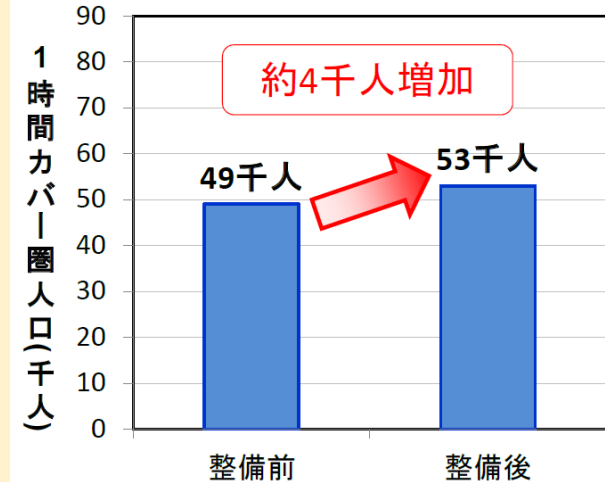
No	拠点施設名	アクセス路	所在地	用途
①	小瀬スポーツ公園	国道20号	甲府市	自衛隊、消防、警察、TEC-FORCE
②	富士北麓公園	東富士五湖連絡道路 国道138号	富士吉田市	自衛隊、消防、警察
③	榎形総合公園	中部横断道	南アルプス市	自衛隊、消防
④	富士クラフトパーク	中部横断道 国道52号	身延町	自衛隊、消防、警察、 (TEC-FORCEを検討)
⑤	防災安全センター	中部横断道	中央市	自衛隊、消防
⑥	緑が丘スポーツ公園	中央道	甲府市	自衛隊、消防
⑦	笛吹川フルーツ公園	国道140号	山梨市	自衛隊、消防、警察
⑧	曾根丘陵公園	中央道	甲府市	自衛隊、消防
⑨	桂川ウェルネスパーク	中央道 国道20号	大月市	自衛隊、消防、警察
⑩	葦崎中央公園	中央道 国道20号	葦崎市	自衛隊、消防、警察
⑪	道の駅富士川	中部横断道 国道52号	富士川町	自衛隊、消防、警察、 TEC-FORCE

中部横断自動車道の開通効果 <救急医療活動の効果>

中部横断自動車道開通により、峡南地域から第三次医療施設(県立中央病院)への救急搬送時間が大幅に短縮

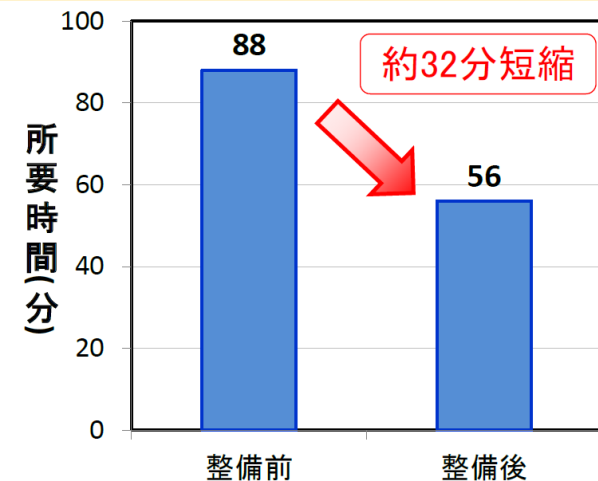


山梨県及び静岡県内の第三次医療施設まで1時間以内で搬送可能な県域が拡大し、救命率の向上が見込まれる



【峡南地域の第三次医療施設1時間カバー人口】 (出典:関東地方整備局)

中部横断自動車道の整備により、周辺地域から第三次医療施設までの所要時間が短縮される



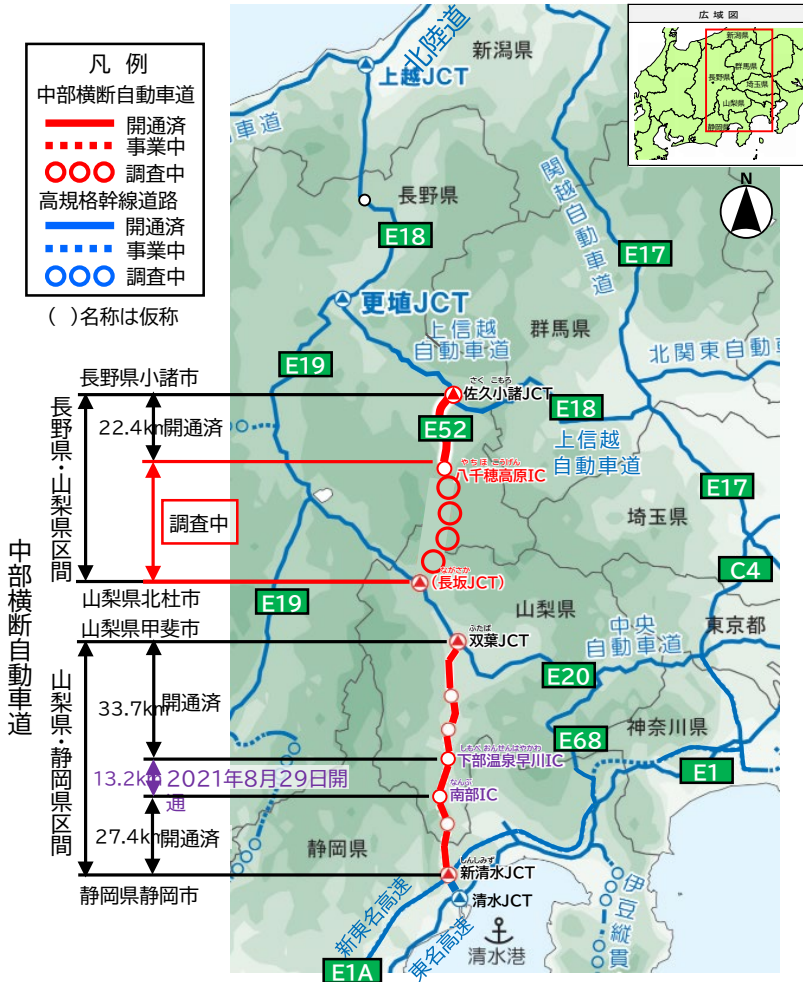
【南部町役場～山梨県立中央病院の所要時間】

○ミッシングリンクとなっている中部横断自動車道（長坂～八千穂間）は、早期事業化に向けた沿線地域の期待が高まっている

【概要】

凡例	
中部横断自動車道	
—	開通済
---	事業中
○	調査中
—	高規格幹線道路
—	開通済
---	事業中
○	調査中

() 名称は仮称



【沿線地域の活動など】



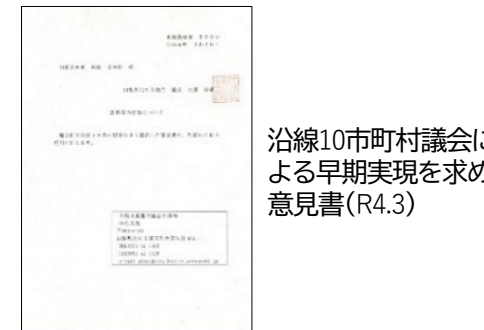
・地元主催で早期整備を
求める会を開催(R1.6)



・山梨、長野の沿線10市町村により
早期事業化を求める懇話会を設立 (R4.1)



・早期整備を求める要望書の提出
沿線3地区より (R3.8)



沿線10市町村議会に
よる早期実現を求める
意見書(R4.3)



・早期整備を求める要望書の提出
3市長より (R3.8)



・北杜市中部横断自動車道
建設促進期成同盟会設立 (R4.5)